

# アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2面 パレスチナ問題学習会
- 3面 世界の動きから
- 4、5面 福井 AALA10周年記念講演
- 6面 日本 AALAの旗を掲げて
- 7面 列島 AALA
- 8面 私と AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2016年6月1日 No.671

## 東アジアに平和の共同体を

# 「戦争するな！どの国も」 国際署名にとりくむ

## メーデー・憲法集会で



7月の参議院選挙まであと2カ月となった5月1日と3日、2つの大きな中央集会が都内で開催され、合わせて8万人以上の市民が参加しました。同様の集会は全国各地でとりくまれました。

3日の憲法集会では、「戦争法廃止を求める2000万人統一署名」が1200万人を突破したと報告されると大きな拍手と歓声が起こりました。「野党は共闘」の声が押し上げ、参議院の1人区20選挙区で「統一候補」の擁立となり、さらに広がろうとしています。日本 AALA は両集会で「国際署名」活動をおこない、参加者に署名の意義を訴えました。

(詳細は6面)



# 「イスラエルとの2カ国共存が基本」 日本政府の国家承認を期待

## 日本 AALA パレスチナ問題学習会

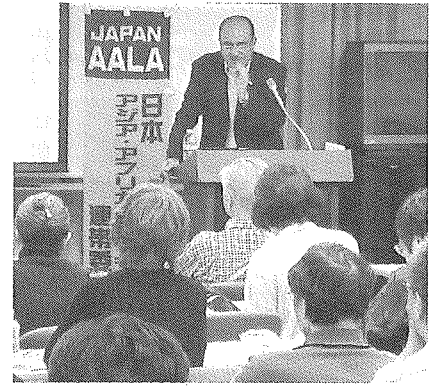
日本 AALA はパレスチナ問題学習会を都内で4月26日に開催し、50人あまりの市民が参加しました。

ワリード・アリ・シナム駐日パレスチナ常駐総代表部大使は、「パレスチナ・イスラエル和平プロセスの今後 生きるか死ぬか—パレスチナの現状と国家承認への展望を語る」と題して講演しました。大使はパレスチナの紀元前1000年からの歴史を語りはじめ、今日の現状を詳しく述べました。

和平が実現しないのは、イスラエルが1967年の第3次中東戦争後のパレスチナとの国境線を無視して、パレスチナの地に入植地の

建設を強行していることで、パレスチナを事実上占領しているからだ」と述べました。そのうえで、「我々は平和を望んでおり、2カ国共存が基本だ」との立場を説明しました。

現在もイスラエルによって7000人のパレスチナ人が収監されているが、そのなかには12歳の少女まで含まれていたこと、アッバス議長が国外に出るときにはイスラエルの許可があること、また大使がパレスチナに帰るときにはイスラエル大使館の許可を得なければならないことや児童の登下校時には身体検査があることなどが話されると、驚きの声会場



に満ちました。

大使は日本政府がパレスチナの国家承認をすること、また日本 AALA の国家承認署名運動への期待も述べました。参加者からの質問にもていねいに答えました。

会場では2人が AALA に加入し、オスパールコーヒーやチョコレート、「知りたかった ASEAN」、5・24 国際シンポジウム報告集の購入がありました。「戦争するな!どの国も」国際署名も寄せられました。

## ラオスプロジェクト① (ASEAN 議長国を読み解くシリーズ)

# ASEAN 議長国 ラオス人民民主共和国は

ベトナム戦争のとき、CIA がバン・パオ将軍率いるモン族を使ってロン・チェンからホーチミンルートなどを爆撃した。

現在のラオスは、日本の本州とほぼ同じ面積で、国土の8割が山岳地帯で、自然が多く残っている。経済規模は ASEAN10 カ国のなかでもボトム3のなかに入っている。48の少数民族がいて人口(649万人)の約半分を占めている。山岳地帯が多いのに、ミャンマーのように少数民族のゲリラ活動はなく、国

内は平和を保っている。国勢は経済規模だけではかされるものではないが、ASEAN内では、1人あたりのGDPが1779ドル(2015年)で、カンボジア、ミャンマーよりは上だが、下から3位。海外からの直接投資は9.13億ドルで最下位(2014年)。年間入国外国人数は410万人(2014年)でミャンマーよりは上だが、実質下から2位である。

観光地としては、ビエンチャン市内の寺院、タイとの国境にかかる「友好橋」、ラオス北部にある世界遺産の町



ルアンパバーン、ジャール平原の石壺もおもしろそうだ。

(常任理事 大村哲)



## 田中靖宏国際部長がラオス当局と事前打ち合わせ

# 小さな国の大きな仕事

ラオスは指導者が4月に交代したばかりですが、秋のASEAN首脳会議や日本や米国も参加する東アジア首脳会議(EAS)の議長を務めます。この首脳たちに「戦争するな」の声をどう届けるか、方法を探りにいって来ました。

### 誇張でない年1000回の会議

重要な国際会議を前にして首都のビエンチャン(人口70万人)は、ガラス張りの豪華ホテルをはじめ建設工事ラッシュで活気が感じられ、準備の会議も目白押しでした。滞在した3日間だけでも、東アジアの安全保障を話し合うASEAN地域フォーラム(ARF)高官会議(SOM)がルアンパバンで(5月8日)、非正規労働者や外国人労働者の保護と権利についての厚労相会議(5月10・11日)がビエンチャンで、つづいて日中韓が加わるASEAN+3厚労相がありました。

前の週末には、各国の電力供給事業のトップが集まる年次会議があり、ARFのSOM会議に参加した米国のラッセル国務次官補とラオス当局の間で秋のオバマ大統領の初訪問の打ち合わせがおこなわれていました。米大統領のラオス訪問は史上はじめてで、インドシナ戦争中、米国がラオスに大量に投下した不発弾の処理が問題になっています。いまでも毎年300人近くが犠牲になっており、ラッセル次官補は最大限の協力を約束したといいます。

ASEANは昨年末に共同体を発足させました。経済規模も宗教も歴史も政治体制も違う10カ国が自国の主権を維持したまま、どうやって共同体としての力を発揮していくのか。憲章や行動計画、ビジョンやプランなど毎年、膨大な文書が採択されていますが、実際に運

営しているのはさまざまな分野とレベルで重層的におこなわれている会議です。その数は毎年1000回にのぼると説明されており、実際にいってみるとこの数字は決して誇張とはいえないと思えました。ラオス外務省のチャントランジー政策局長も、「今年も1000回近くになる」といっていました。

### 市民の声を聞いて

ASEAN憲章(2008年発効)には、「人民志向(16条)」の規定があり、各国政府は「ASEANの目的と原則を支持する諸団体と共同することができる」とされています。これにもとづいて認定された関連団体(業界団体や学術・研究機関、医療・福祉団体など)による「ASEAN市民社会会議(ACSC)」があって、ほかの非政府組織(NGO)や労組などが参加するASEAN人民フォーラム(APF)とともに、政府に要望を反映させる諮問会議(ACSC/APF)をひらいています。

4月のバンコクに続いてビエンチャンで今年2回目の諮問会議があったので、参加を打診すると、日本AALAとしてオブザーバー資格での参加が認められたので、論議を聞いてきました(5月10日)。集まったのは50人近くの代表(各国1~10人)ほどで、主催国ラオスの市民社会組織(CSO)会長と専門家の報告にもとづいて論議がおこなわれました。論議では、各分野の要求をどのように政府や首脳会議に反映させるかで、この枠組みがはじまり10年たつが、次第に名目だけのものになり形骸化されている、政府とコンサルティング会議をやっても最終文書や実際の政策には反映されないといった不満や問題が指摘されました。市民社会組織(CSO)といっても、

政府から独立した組織をもっている国は少数です。多くは補助金などで運営される政府系機関が多いこと、その一方で独立した民間団体や人権、平和団体などは勢い政府の政策に批判的な立場をとることが多く、CSOとしての要求をまとめるのにも困難があるといった問題も抱えています。政府を代表して参加していたチャントランジー政策局長も「このままではACSCは有名無実化する。ASEANの人民志向の理念を維持するには市民組織がそれぞれの分野で中身のある成果をあげなければならない」と強調していました。

### 非核・非同盟の原則の重要性

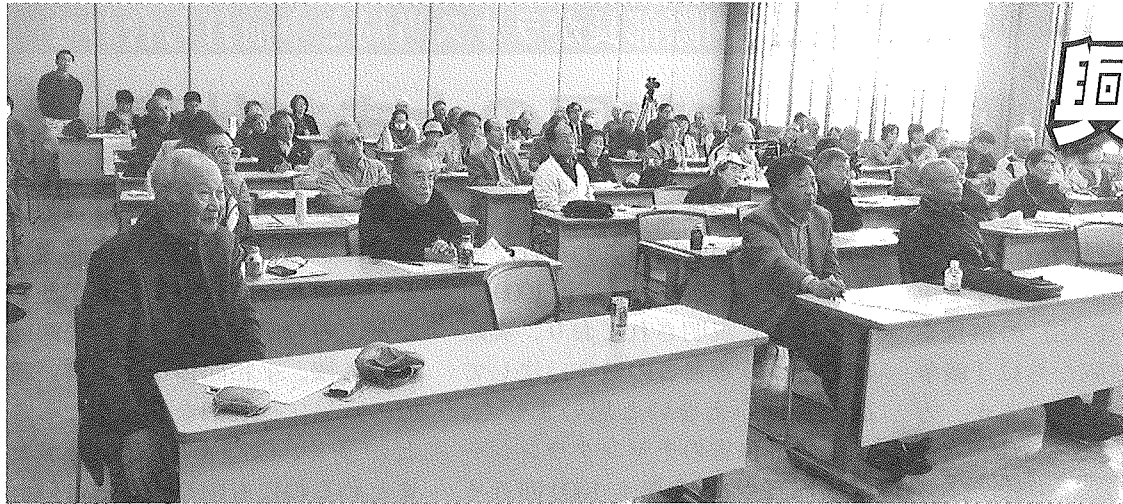
ラオス平和連帯委員会のカンパン・シマラフォン会長にあつて意見を交換してきました。

外務次官や駐仏大使を務めたベテラン外交官で、2007年のASEAN憲章策定に実務責任者として参加された人でした。話はそのときの苦労や、周囲を大国に囲まれた国がいかに国境の紛争問題を解決し、平和の維持に努力をしているかという内容で、「大事なことは解決を急がず、時間をかけるのをいとわないこと」だという話が印象的でした。

私からは日本AALAの歴史と、いまとりくんでいる国際署名の活動を紹介。会長は、非核と非同盟に大賛成、共存と内政不干渉、紛争の平和解決という原則にたつて協力しましょうという力強い答えがありました。

短期間の取材でしたが、人口649万人の小さな国が、東南アジアだけでなく東アジアの平和と協力で大きな役割を果たしていると感じました。

(国際部長 田中靖宏・5/13記)



「脱米入亜」に目からウロコ

# 興隆するアジアと日本の進む道

福井県 AALA  
10周年記念講演

## 講演会に80人が参加 3人が会員に

福井県 AALA は4月29日に10周年記念講演会を開催しました。福井県 AALA は、「世界を知る」学習を重視しています。学習は AALA 地域関係のテキストを設定して月1回、レジメでの報告、質疑・討論というかたちですすめています。一昨年、筑波大学名誉教授、進藤栄一さんの「アジア力の世紀」(岩波新書)を選び7回で読了しました。進藤さんの分析の鋭さに感嘆し、そのあと国際シンポジウムでお会いしたときに、10周年記念講演に来ていただくという思いを強くしました。

講演会は AALA 本部の援助で実現しました。多くのチラシを配布し、いまの情勢を知りたいという80人が参加し、講演会は成功しました。なお、講演会后3人が福井県 AALA に加入しました。

(理事長 山本富士夫)

\*講演の内容を福井 AALA に要約していただきました



## 進藤栄一 筑波大学名誉教授

1939年生まれ。京大卒。ハーバード大などで研究員。筑波大教授を経て03年名誉教授。現在、国際アジア共同体学会会長、アジア連合大学院機構理事長。「アジア力の世紀」、「アメリカ 黄昏の帝国」、「東アジア共同体をどうつくるか」など著書多数。

私たちは福沢諭吉の世界観から抜け出てないんです。アメリカをモデルに考えてはいけません。全米企業の収益のうち、金融収益は半世紀前8%。いまは50%を超えています。ものづくりは GM はかつてシェア

60%あったのが、いまは5%。67人の富豪の富が世界人口の半分の富を占め、1%が99%を支配。金融資本主義が格差社会をつくる。日本はアメリカのようになってはいけないうです。

## 岡倉天心「アジアは一つ」

今日のメッセージは、「アジアとともに生きることなくして日本の平和も繁栄もありえない」ということです。アジアの時代が来ています。私は「アジアの時代」と呼ばないで、「アジア力の世紀」と呼んでいます。中国やインド、日本など、一つひとつの国が興隆するのではなく、相互に依存し連鎖し補完しあいながら興隆しています。

ちょうど150年前、福井藩士の岡倉天心が「アジアは一つ」と言った。いま、一つのアジアが誕生しつつあるんです。いままでアジアは分断されていました。欧米を中心に強い支配を受けていました。強い軍事力を持ち先進国になったヨーロッパ諸国の大英帝国の世紀は18～19世紀。20世紀は大米帝国の時代でした。巨大な軍事力、巨大な生産力、その大英帝国が終わりをはじめました。パ

クスアジアーナ、アジアの力による、アジアの世紀が生まれています。

1年半前、IMFがレポートを出しました。G7先進7カ国のGDPは34兆5000億ドル。これが新興7カ国の中国、インド、ロシア、ブラジル、トルコ、インドネシア、南アフリカの37兆8000億を下回りました。この差はもっと開いています。しかも中国のGDP17兆6000億ドルが、アメリカ17兆4000億ドルを2014年10月に上回りました。2010年、中国は日本を抜いて世界第2の経済大国になりました。このときの4千500億ドルの差が2014年には10兆ドルになったと報告されました。2019年この差が5倍になるといわれています。世界大逆転の時代がはじまりました。東西逆転、南北逆転、先進国と途上国世界の力が逆転する世紀がはじまったんです。

をつくり上げていく。この「一帯一路」は AIIB にかかっています。57カ国でつくり上げていこうじゃないかということです。

いま、第三の開国の時代に来ています。松平春嶽が福井藩主として、日米通商条約締結に大老井伊直弼と意見を異にして蟄居になります。しかし明治政府で大蔵卿に就任。明治日本をつくりました。岡倉天心はこ

の後、新しいアジアをつくろうとしました。パクスブリタニカの世紀、これが第一の開国です。

第二の開国はアジア太平洋戦争後、日本国憲法がつくられてからです。パクスアメリカーナの世紀に向けて日本は国を開きました。新しい市民社会をつくろうということです。

## 脱米入亜に

第三の開国は、もうアメリカについていくべきではありません。第一の開国は脱亜入欧。これが脱亜入米に変わり、いま、脱米入亜にしていくなさです。日本からの輸出の半分はアジア。世界物流の7割はアジア。世界の3分の2がアジアを介在しています。ものの移動、資本や人間や情報の増加。この時代にアメリカから抜け出てアジアに入るべきではないかということが、私がくり返しているメッセージです。

福沢諭吉はヨーロッパに入っていくべきといいました。そして日清戦争を擁護します。それから日露戦争も。司馬遼太郎は「坂の上の雲」で、

暗い昭和と明るい明治をあつかいました。第一の開国以降、坂の上の白い雲を見て、峻厳な坂を登りつめて行く。しかしその後、日露戦争を経て昭和に入り軍閥に日本の政治が握られ、暗い昭和の時代を迎えたと。実は、明るい明治ではなかったんです。坂を上る過程の日清戦争で台湾を領有し、1895年2月13日尖閣諸島を沖縄県に編入領有しました。日中間のいざごごのはじまりはここからきています。それから日露戦争で1910年、韓国を植民地にします。戦争の渦中、1905年1月14日には独島を島根県に編入して竹島に名前を変えた。

## 日本の未来は日本国憲法で

もう一つ言えることは、アジアとの共生。中国抜きに経済発展ができない時代です。世界の市場がアジア経済と一体となるなかで、アジアが世界の銀行へと変わりはじめました。実は東アジア共同体の動きがありました。ASEAN+3(日中韓)+3(インド、ニュージーランド、オーストラリア)、これを軸にして東アジア地域統合をつくるべきでないでしょうか。東シナ海や南シナ海は歴史の流れのなかでどうしたらいいのか。2006年、日中韓で周辺のガス田を共同開発する基本合意ができたにもかかわらず安倍政権がこれを反故にしました。2010年5月に鳩山政権で再度合意しましたが、民主政権崩壊で棚上げされました。菅政権のTPP参加表明は、東アジア統合にくさびを打ち込みました。2011年9月には野田政権が尖閣諸島を国有化。歴史の逆行がはじまりました。

二つのことが重要です。一つは帝国はすたれいくこと。アメリカの世紀は終わりました。二つ目は、アジアのなかに、アジアと共生する視野

を磨き上げること。和の精神とか、アジアが持っている価値はいろいろあります。終局は日本国憲法です。NGO「ベシヤワール会」現地代表の中村哲さんは、10年かかってパキスタンとアフガニスタンの国境周辺を緑化しました。これが憎しみの連鎖を断ち切って人びとの心を平和につないでいる。まさに人間安全保障、生きた憲法9条です。

アメリカは情報革命によって、恐ろしい新兵器をつくり出しました。バージニア州とテキサス州で、画面を前にしてボタンを押すことによって、地球の裏側のアフガニスタンや中東に空爆することができる。無人爆撃機をつくり出しているかと言ふと、アメリカの戦争ですよ。

中国と共生しながら、潜在的な豊かさをつくり上げることのなかに日本の生きる道があり、日本の未来があります。その核は日本の憲法にあるんです。

## アジアインフラ投資銀行 (AIIB) の発足

その後、できたのがアジアインフラ投資銀行(AIIB)。実は日本にいっしょにやろうと1年も2年も前から打診してきました。外務省は「アメリカといっしょにやっていく」ということでOKを出しませんでした。世界銀行もアジア開発銀行も日米いっしょにやっていくということ

です。日米をのぞく欧州諸国、途上国、57カ国が AIIB に参加しました。昨年の発足以来、東西逆転、南北逆転を支えています。中国政府はいま、海と陸のシルクロードを21世紀に復活させようとしています。欧州、アフリカ、中東、アジア、東南アジアも含めて、海と陸のシルクロード

## 平和と連帯

# 日本 AALA の旗を掲げて

### 各県の活動を紹介します

#### いつでもどこでも 会員拡大

埼玉 AALA は、4月16日に第30回定期総会と創立40周年記念レセプションをおこないました。そのなかで若者、市議会議員、教員の3人を新会員に迎えました。

その後、うれしいことに新会員の若者が仲間を1人拡大し、40周年記念レセプションで発言してくれた埼玉県議会議員が地元でその様子を話すなかで1人を拡大しました。次に、退職教員の仲間に AALA のとりくみを話すなかで2人拡大、友好団体の原水協の事務局員を1人拡大、とつづきました。

5月1日の埼玉県中央メーデーでは、「戦争するな どの国も」国際署名を60筆集約し、日本共産党の奥田智子参議院議員予定候補を新会員に迎え、春日部地区メーデーでも1人拡大、5・3憲法集会では、日本 AALA 事務局長の野本さんといっしょに退職教員を1人拡大。本年度に入り11人を拡大しました。

この間の拡大の教訓は、大きな行事や集会、実行委員会など、どこでも意識的に AALA の宣伝をし、タイミングを逃さずペンと加入ハガキを出して書いてもらうことでした。

国際署名は、4月30日の埼玉母親大会で配布物に署名用紙を入れてもらい、800筆を集め、会員から郵送などで集約した約200筆とあわせて、約1000筆を集めることができました。

今後は、中身の濃い埼玉 AALA 創立40年誌を会員1人1人



(左・埼玉) メーデー会場で拡大 (右・茨城) コーヒーがよく売れました

に届けつつ、会員拡大と国際署名を旺盛にとりくんでいきたいと思えます。

(事務局次長 田中昌子)

#### オスパールコーヒーの思い 切った普及を

茨城 AALA は5月3日、1100人の市民が参加した「憲法フェスティバル」に出店しました。

フェスティバル実行委員会が、茨城 AALA の会報を受付で参加者に配布してくれました。

AALA のテントでは、役員だけでなく会員と協力者など10人あまりが立ち、コーヒーの販売をおこないました。

また、4月30日の茨城 AALA 定期総会を撮った DVD を他団体の役員のみなさん、および総会の欠席者に普及することができました。そして「戦争するな! どの国も」国際署名を市民に訴え、約40筆を集めました。

淹れたてのコーヒーは大変評判で、買い求める人がつづきました。

(理事長 林 俊光)

#### 「戦争するな! どの国も」 国際署名

5月1日にメーデー、5月3日には憲法集会が全国各地でおこなわれました。これらの集会で、各都道府県の AALA は「戦争するな! どの国も」国際署名にとりくみました。

都内では日本 AALA が代々木公園の中央メーデーで、三多摩 AALA も三鷹市のメーデーでとりくみ、あわせて約400筆の署名を集めました。

AALA 連帯委員会をまだ知らない方もいましたが、「安倍政権が中国や北朝鮮の脅威を煽り、軍事的対応をとっていることは間違い。ASEAN のように対話を重視しよう。今年、ラオスでひらかれる東アジア首脳会議 (EAS) に署名を届けます」と訴えました。

千葉 AALA は2カ所のメーデー会場で国際署名200筆を集め、現在1200筆になりました。

沖縄在住の山本翠さんは、沖縄のたたかいを支援に来た各県の人たちに訴えるなど、国際署名を100筆集めました。



## 大阪 大阪総がかり集会で 署名活動



5月3日「安倍改憲許すな、戦争法廃止」総がかり行動の集会が全国で開催されましたが、大阪では北区の扇町公園に2万人の市民が集まりました。

午後1時半の開会に先立ち、大阪AALAは午後0時半から1時間、会場入り口付近で「東アジア国際平和署名」活動をおこないました。署名活動には12人が参加し、署名は126筆集まりました。多くの団体が署名やチラシ配布し混雑するなかに混じって、「大阪AALAです。東アジア首脳に提出する国際平和署名にご協力を」と訴えると、快く協力してくれる方がたくさんいました。

集会では4野党の代表が壇上で手をつなぎ、リレートークでは高校生もスピーチする盛り上がりのなか、「戦争法廃止」のプラカードを全員で掲げアピールしました。集会後、3コースに分かれてパレードし、市民に訴えました。

(機関紙宣伝委員会 浜辺友三郎)

## 群馬

### 諸国民と国際連帯し TPP 批准の阻止を

群馬AALAは、新自由主義グローバル化のもとで多国

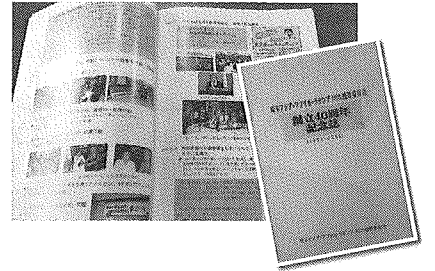
## 埼玉

### 創立40周年 レセプションと記念誌

4月16日の定期総会につづき、半年遅れながら創立40周年記念レセプションを開催しました。日本AALAや近県のAALA代表を含む、各界から55人の参加で、なごやかかつ濃密に、友好と連帯のひとときを過ごすことができました。

昨秋の「40周年記念のつどい」では、埼玉AALA40年の歩みを詳細な年表として配布しましたが、今回はその年表の改訂版を資料に加えて、A4版196ページ、オールカラーの「創立40周年記念誌」を刊行できました。

記念誌の第1部には代表委員あいさつ、複数の駐日大使をはじめ各界・個人からの祝賀メッセージ、歴代事務局長他の回想、30周年当時の機関紙からの再録等を掲載。第2部では埼玉AALAの40年間を、5つのテーマに分類して詳述。当時の宣伝チラシや写真をふんだ



んに使用しました。第3部は資料編として、年表のほかに機関紙や案内リーフの変遷を紹介。歴代役員一覧も復元掲載しました。

完成に至るまで、編集委員一同並みの努力ではありませんでしたが、埼玉という一地方における国際連帯運動を、貴重な歴史資料に仕上げられたと自負しています。埼玉では全会員頒布ですが、全国のみなさんにもぜひ読んでいただきたいと思います。

申し込みは、埼玉AALA (FAX: 048-832-9565) まで。頒価1200円+送料です。

総会以降の半月で、2桁の会員拡大と1000筆弱の国際署名を集め、血気盛んな埼玉です。

(理事長 河内研一)



籍企業が世界を蹂躪する昨今、いかに国際連帯運動を進めるかを課題として、2月に定期総会をひらきました。そのあとセイコウ・イシカワ・ベネズエラ駐日大使が「参加型民主主義」について講演をおこないました。前年はマルコス・フェルミン・ロドリゲス・コスタ駐日キューバ大使の講演会を開催しました。前年につづいて新聞各紙が講演を大きく取り上げ、群馬AALAの活動が紹介されました。

群馬AALAは、国際連帯をすすめる組織として、TPP反対など、県民の民主的権利を擁護して共同の諸行動に参加してきまし

た。また、平和友好諸団体との共同で、諸国民との友好・連帯の展望を切り開く活動で役割を担ってきました。

国民生活に重大な影響をおよぼすTPPは、国家主権を否定し、民族自決権を蔑ろにする国際的にも許しがたい諸条項を含んでおり、なんとしても廃案にしなければならぬ条約です。とくにISDS条項は、多国籍企業が国家主権を侵害する最悪の条項で、群馬AALAとして徹底してこれに反対し行動しています。4月25日にはPARC事務局長の内田聖子さんを講師に学習会がおこなわれました。食健連からリーフを取り寄せて会員に配り、諸団体のTPP反対の行動に共同しています。多数の人がTPPに反対している諸国民との国際的連帯に参加されることを願っています。

(事務局長 石川利二)

# 豊かな香りの おいしいコーヒーを

ご家庭と職場に  
オスパールコーヒーを  
お届けします

昨年末、親せきや友人にコー  
ヒーを贈ったら「こんなにおい  
しいコーヒーがあったのか」とよ  
こばれました。東京の会員の感想  
です。

数年ぶりにモカ・ウォッシュド  
とモカ・ブレンドの販売を再開  
しました。モカはキリマンジャロ  
とならび、日本人の好むコー  
ヒーです。ほかにもマラゴジペ  
など豊富な銘柄を取り揃えて  
います。ご注文は、日本AALA  
ホームページ、または工場直  
通ファックス(049-254-8158)、  
電話(049-254-6241)から  
できます。送料は別途必要です。

## 価格表 (消費税込み/1袋200g)

コーヒー銘柄	価格
ニカラグア・マラゴジペ	1,320
エルサルパドル・アルゼンティーナ	1,030
キリマンジャロ	940
メキシコ・アルツーラ	940
グアテマラ・アンティグア	940
ホンジュラス	940
コロンビア・スプレモ	940
ブラジル・サントス	940
マンデリン	940
インドネシア・カロシ	1,390
オスパール・ブレンド	860
アイス・コーヒー(粉のみ)	1,000
グアテマラ・サンドライ	1,140
コスタリカ・カフェ・ボニータ	1,040
サン・ファン・デル・オロ	1,400
モカ・ウォッシュド	1,100
モカ・ブレンド	950

コーヒー銘柄	価格
ギフトセット(3) マラゴジペ/ キリマンジャロ/ブレンド	3,370
ギフトセット(6) マラゴジペ/ キリマンジャロ/ブレンド マンデリン/ブラジル・サ ントス・コロンビア・スプレ モ	6,290

オスパールは、1979年中米ニカ  
ラグアでのサンディニスタ民族解  
放戦線(FSLN)革新政権を支援  
するために、少しの量しか収穫で  
きませんがすぐれた味の「幻の豆」  
といわれる豆、マラゴジペを輸入  
して、サンディニスタ政権の発展  
を願う日本国民の間に紹介する目  
的で、株式会社オスパールを設立  
したことから来ています。

**わたしと** 81



**AALA**  
京都AALA運営委員  
井上 史

### 異文化理解は 争いを遠ざける道

京都AALAで、語学講座と文  
化イベントを担当しています。

語学講座は、スペイン語、中国  
語、韓国語などにとりくんでき  
ましたが、なかでもいちばん長くつ  
づいている講座が英会話です。現  
在、講師はイギリス人の男性で、  
初級中級の参加者から好評です。

去年から京町家でのcafeイベン

トにもとりくんでいます。沖縄音  
楽や留学生によるバングラデシュ  
や中国の話、日本人によるエク  
アドルの話とアンデス音楽などをお  
こないました。


イベントに人を集めるのはけっ  
こう大変なので、気が重いなど  
思っていました。今年も第一弾、  
6月18日にアフリカ企画をします。  
コンゴとケニアの留学生にプレゼ  
ンをしてもらい、日本人とギニア  
の方にアフリカの太鼓、ジャンベ  
を演奏してもらいます。

京都AALAの学習で世界に関  
心が湧き、数カ国の留学生に日本  
語の相手をしてきましたが、興味  
深い情報を1つ。パレスチナか  
ら留学してきているジュマーナ  
さん。お好み焼きを食べましょ  
うと家に招待すると、「夫のアフマ

ッドがいいしょでもいいですか」と言  
う。夫婦いっしょに行動する文化  
らしい。つぎつぎ焼きながら、無  
理して食べなくていいよと言っ  
ても、おいしいですとアフマッドは  
けっこう食べる。パレスチナでは  
がんばってたくさん食べて相手を  
喜ばすのがマナーとのこと。その  
後2人が、「食べに来て」としき  
りに言うので、2回おじゃました。  
私なりに積極的に、いや必死に食  
べたつもり。もっとどうぞとすす  
められ、「日本人は小食なもので」  
と勘弁してもらいました。

パレスチナの現状の学習以外  
に、文化も体験しています。異文  
化を知り人間同士が理解しあうこ  
とは、楽しいうえに争いを遠ざけ  
る道であると思います。

**編集・発行** **日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会** JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33 宮庭ビル4 階  
電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>  
FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: [info@japan-aala.org](mailto:info@japan-aala.org)  
振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円(送料62円)